

An aerial photograph showing the Sagami River delta flowing into Sagami Bay. The river branches out into several smaller channels, creating a complex network of waterways. The surrounding land is densely populated with buildings and infrastructure, interspersed with green agricultural fields. In the background, the bay opens up to the sea, with distant islands and a clear blue sky. The overall scene captures the coastal landscape of the region.

三河港務所の事業概要

愛知県三河港務所

三河港の概要

- 1964年(昭和39年) 重要港湾に指定
- 港湾区域 = 蒲郡市西浦～田原市白谷
- 水域面積 = 13,200 ha (名古屋港 8,167ha)
- 臨海地区 = 6地区に300社超の企業が進出



- ◆ 東三河地域は日本を代表する自動車産業の集積地である
- ◆ 三河港は国内外の自動車メーカーの輸出入拠点港であり、世界有数の自動車港湾である。

【2021年（速報）】

輸入自動車金額	29年連続日本一	6,683億円
輸入自動車台数	29年連続日本一	175,300台（日本の51.4%を三河港から輸入）
輸出自動車金額	全国第2位	2兆1,912億円（1位：名古屋港）
輸出自動車台数	全国第2位	795,247台（1位：名古屋港、3位：横浜港）
貿易額	全国第10位	3兆0,929億円 ※貿易黒字額は1兆5,829億円

蒲郡地区

南アルプス



国道23号
蒲郡バイパス
(2024年度 完成予定)

国道23号
蒲郡バイパス

幸田町

幸田芦谷IC

蒲郡西IC

蒲郡IC

蒲郡市

三菱自動車
モータープール

東港まちづくり推進エリア

浜町

竹島

漁港区域

-11m岸壁(工事中)

心頭用地(工事中)

バイオマス発電
(2023年運転予定)

にっぽん丸



ケーソン据付
完了全景



大塚地区

施工状況（海陽3号線）



国道23号
蒲郡バイパス(工事中)
(2024年度 完成予定)

(仮)金野IC

豊川市

(都)大塚金野線

ラグーナテンボス

海陽ヨットハーバー

(臨)海陽3号線(工事中)

大塚海浜緑地

大塚沖深掘れ箇所
埋戻し(～2020年)
覆砂(2021年～工事中)

御津沖深掘れ箇所
埋戻し・覆砂
(～2017年完了)

御津地区



蒲郡IC

(仮)金野IC

国道23号
蒲郡バイパス(工事中)
(2024年度 完成予定)

蒲郡市

大塚海浜緑地

分譲準備中
保管施設・流通施設用地

豊川市

豊川為当IC

御津1区

緑地(工事中)

(主)東三河環状線

-5.5岸壁(供用中)

バイオマス発電
(2019.7月運転開始)

御津2区

日本列島公園

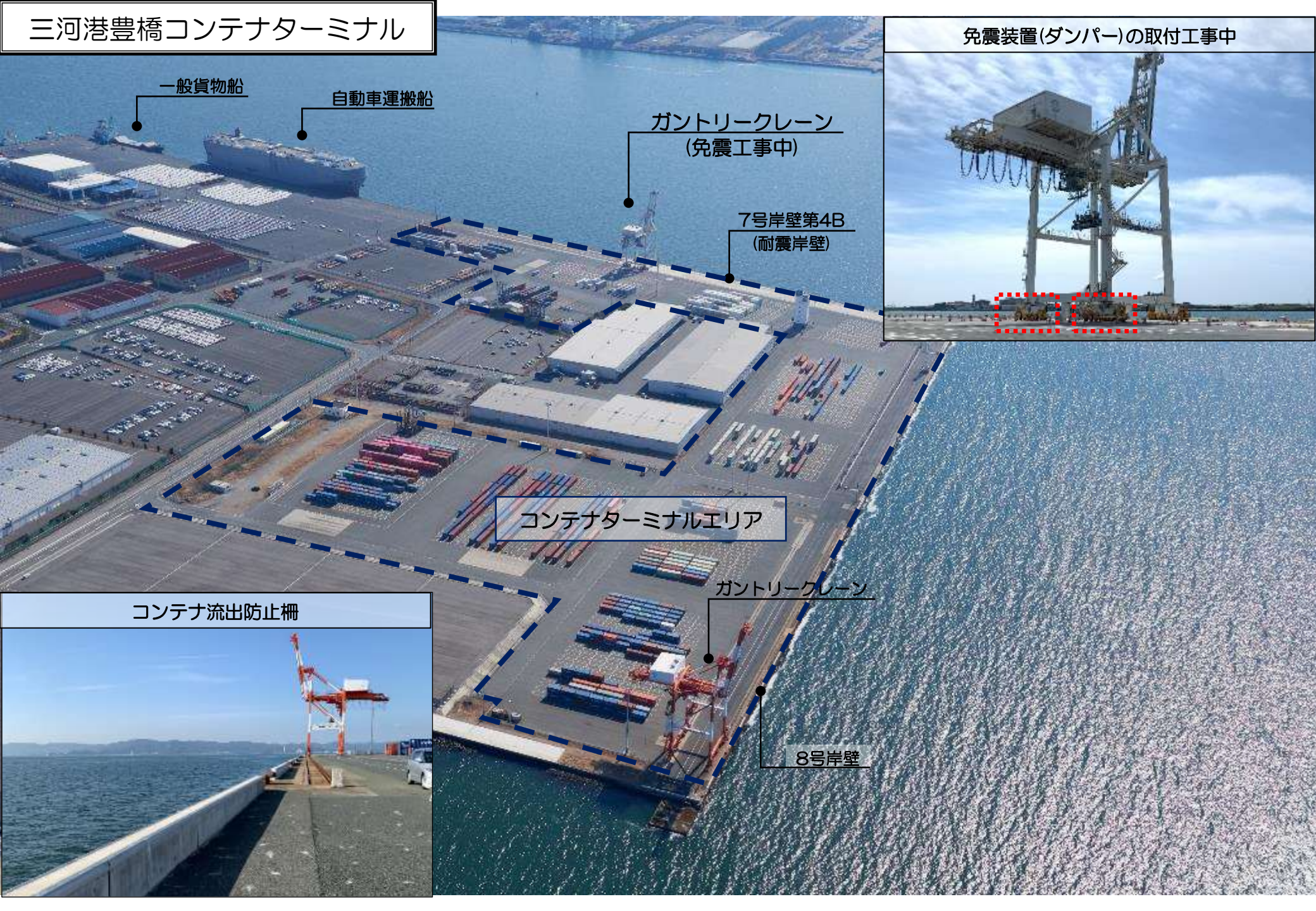
三河臨海緑地

(臨)東三河臨海線

豊川浄化センター

三河港豊橋
コンテナターミナル

三河港豊橋コンテナターミナル



一般貨物船

自動車運搬船

ガントリークレーン
(免震工事中)

7号岸壁第4B
(耐震岸壁)

コンテナターミナルエリア

ガントリークレーン

8号岸壁

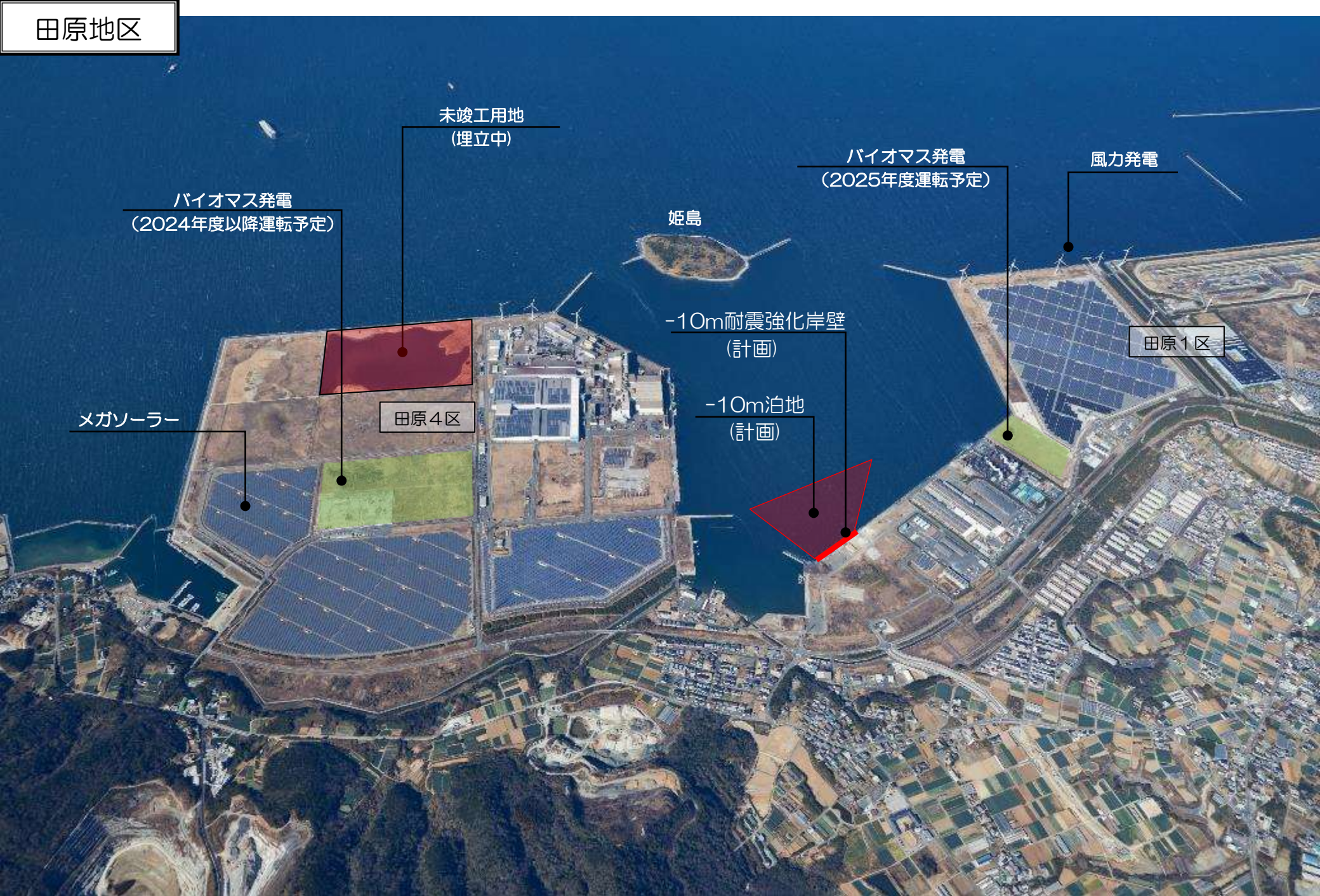
免震装置(ダンパー)の取付工事中



コンテナ流出防止柵



田原地区



未竣工用地
(埋立中)

バイオマス発電
(2024年度以降運転予定)

姫島

バイオマス発電
(2025年度運転予定)

風力発電

-10m耐震強化岸壁
(計画)

-10m泊地
(計画)

メガソーラー

田原4区

田原1区

東三河臨海線
(神野地区から御津地区側を望む)



浜松湖西豊橋道路
(明海地区から三ヶ日側を望む)



三河港港湾計画の改訂について

三河港港湾計画改訂の概要

- 港湾計画は、港湾法（第3条の3）に基づいて、港湾管理者が定めなければならない法定計画であり、その港湾に関わる全ての関係者（港湾管理者、地元自治体のみならず、民間企業をはじめとする港湾利用者等）が、開発、利用及び保全を行う上での共通の指針となる計画である。
- 平成23年の改訂後、三河港を取り巻く環境が変化しており、2019年度から次期改訂に向け検討を進めており、昨年2021年度からは”概ね30年後の将来を見据えた長期構想（案）”をベースに、”概ね15年後の三河港のあるべき姿を示す港湾計画“の検討を進めている。



三河港長期構想（案）について

三河港の5つの将来像と7つの目標



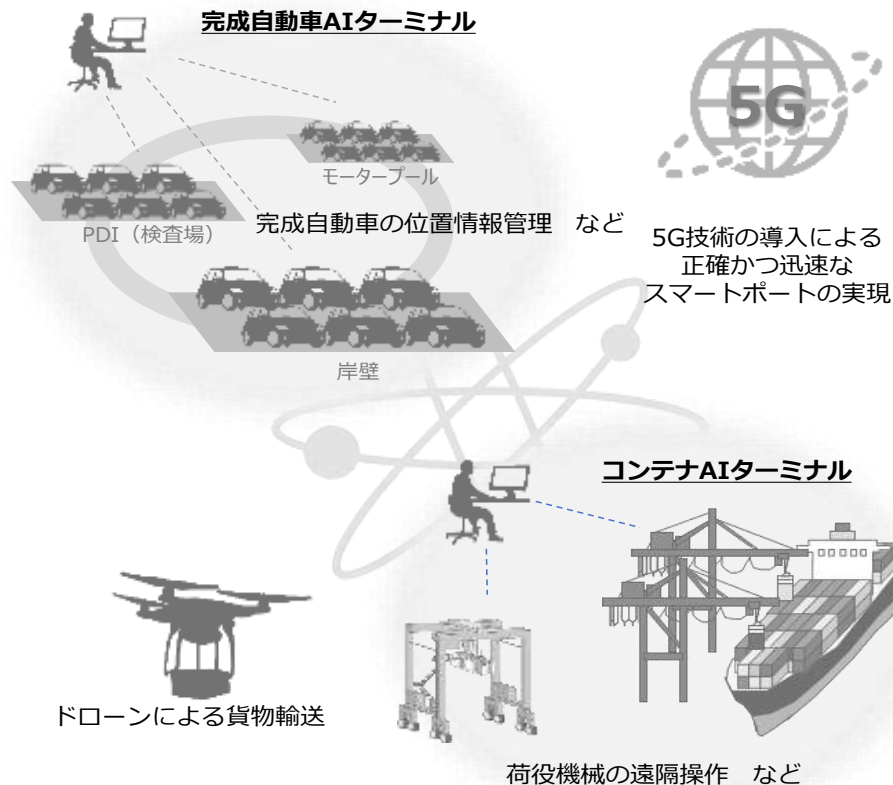
三河港長期構想（案）

【物流】新たな国際・国内海上輸送に対応した競争力のあるみなと

目標1

最新の情報通信技術の導入・活用による物流の高効率化の実現

- ・ **完成自動車AIターミナル**の形成及び共同輸送による効率化
- ・ 革新技術を導入した**コンテナAIターミナル**形成
- ・ **DX（デジタルトランスフォーメーション）**を加速させ、更なる物流の効率化・安定化による三河港の競争力強化



AI, ICTを活用したコンテナターミナルの高度化イメージ



資料：国土交通省資料

三河港長期構想（案）

【物流】 新たな国際・国内海上輸送に対応した競争力のあるみたと

目標2

三河港の地理的優位性や地域産業、広域交通網を活かした背後圏の拡大

- 三遠南信地域も睨んだ**背後圏の拡大**
- 農林水産物の輸出促進**による港の利活用、臨海部における**保管機能の強化**
- RORO船を活用した海上輸送ネットワークを構築**、情報通信技術の導入による**次世代高規格ユニットロードターミナル**形成

広域交通ネットワークを活かした
背後圏拡大・農林水産物の輸出促進



モーダルシフトの推進・次世代高規格ユニットロードターミナルの形成



高規格ユニットロードターミナルの形成

資料：国土交通省資料

三河港長期構想（案）

【産業】地域産業の持続的発展に資するみなと

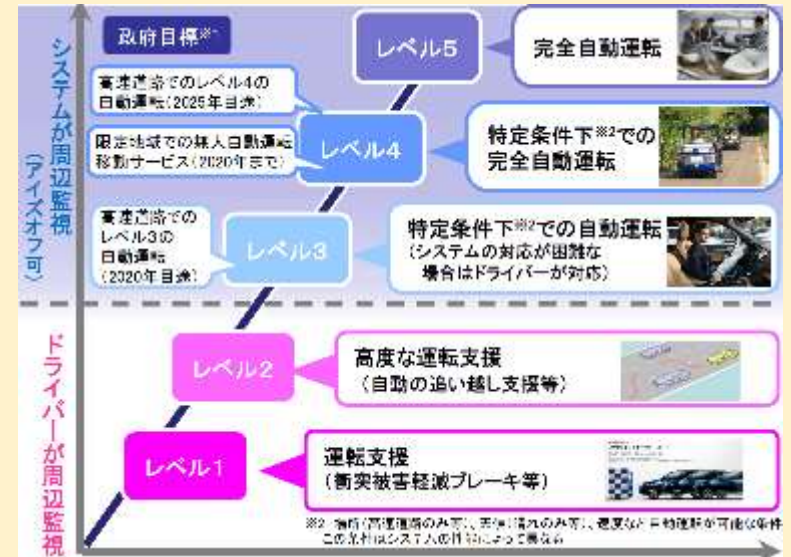
目標3

自動車産業の持続的発展と次世代産業の創出

- 電気自動車、燃料電池自動車などの**次世代自動車の受入れ**を見据えた基盤の強化
- CASE、MaaSなど、**新たな車（移動）サービス**提供推進の支援
- 航空宇宙産業やドローン関連産業などの**次世代産業の創出**
- ふ頭間及び背後広域交通網との**ネットワークの形成**



自動運転のレベル分け



出典：国土交通省資料

後続車無人システムの実証実験（新東名）



港湾における完全自動車無人搬送（日産自動車）



三河港長期構想（案）

【人流・交流】人々を海へと誘う魅力 あるみなとまち

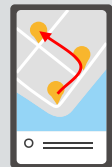
目標 4

豊富な観光資源の活用・連携による交流機会の増大

- MaaSなどの移動サービスによる**回遊性の向上**、**観光地としての魅力及び集客の向上**
- 国内外の**クルーズ船**や**大型プレジャーボート**の受入機能や体制の強化、地域経済の活性化、**地域のブランド化**
- **観光情報の一元化**、多言語対応など**高い水準のサービス**提供
- 港湾緑地（公園）などの親水空間の配置による**港の魅力向上**
- 三河港の強みである自動車産業などの、**観光資源**（工場見学など）、**教育資源としての活用**



観光情報の一元化、MaaSの活用イメージ



スマートフォンが近隣の
おすすめ観光スポットを紹介
⇒同時に、最適な移動経路・手段を手配

水上交通や地域観光資源を活用したクルーズ船寄港地観光
充実のイメージ



出典：国土交通省資料

三河港長期構想（案）

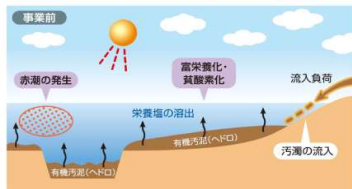
【環境】 港湾利用と地域・自然環境が
共生・調和するみなと

目標5
かつての豊饒な宝の海を取り戻す

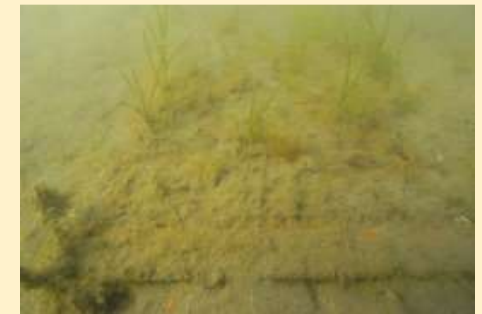
- 干潟・浅場造成を中心とした豊かな海の保全・再生に向けた**環境施策の継続的な実施**
- 多様な海岸線や海域の良好な景観・水底質環境が保たれた**海とのふれあいの場などの拡大**
- 豊かな海の保全・再生に資する**新技術の導入**
- 産学官や住民、NPOなど**多様な主体による協働・連携**

シーブルー事業の取組み

対策《環境被害》 重砂 浅場・干潟の造成 汚泥淤滞



干潟・浅場の造成



生えてきたアマモ



環境学習の場としての三河湾の利用

三河港長期構想（案）

【環境】 港湾利用と地域・自然環境が
共生・調和するみなと

目標 6【環境】

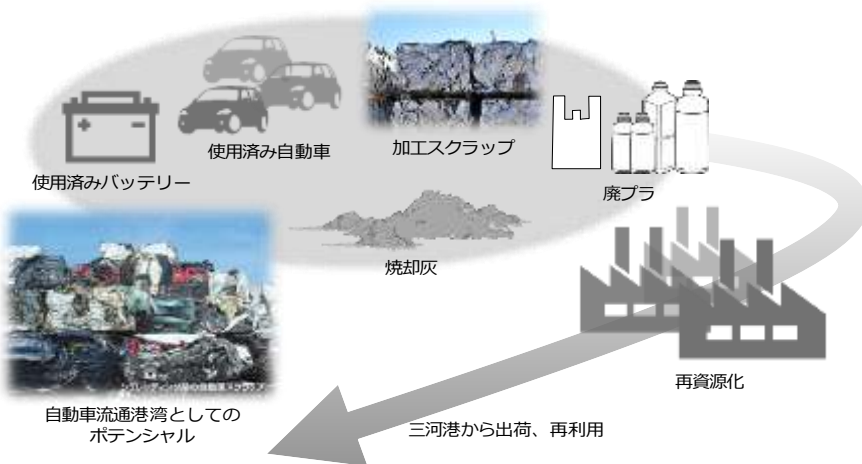
地域の自然・産業を活用した環境にやさしいみなとづくり

- 脱炭素化に向けた風力発電・太陽光発電などの**再生可能エネルギー**の積極的な導入支援、「**カーボンニュートラルポート**」の実現に向けた**新たな資源エネルギーの受入拠点**の形成及び背後圏への需要拡大
- リサイクルポート（総合静脈物流拠点港）**としての役割を果たすことによる、循環型社会実現への寄与

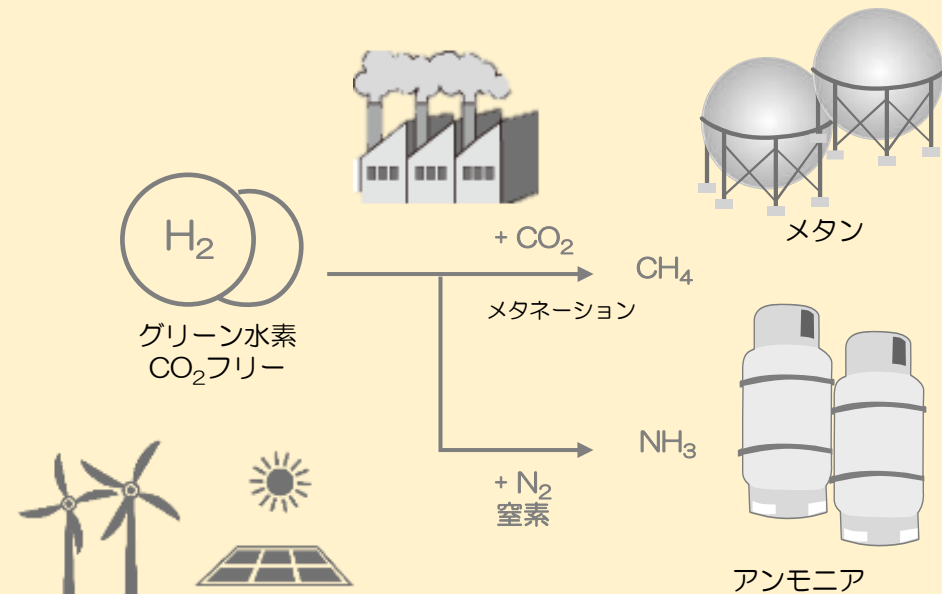
カーボンニュートラルポートの形成



リサイクルポートとしての役割の確立



グリーン水素を活用したエネルギー生成



三河港長期構想（案）

【安全・防災】市民や地域産業の 安全・安心を支えるみなと

目標7 様々な災害から地域を守る強靱なみなとづくり

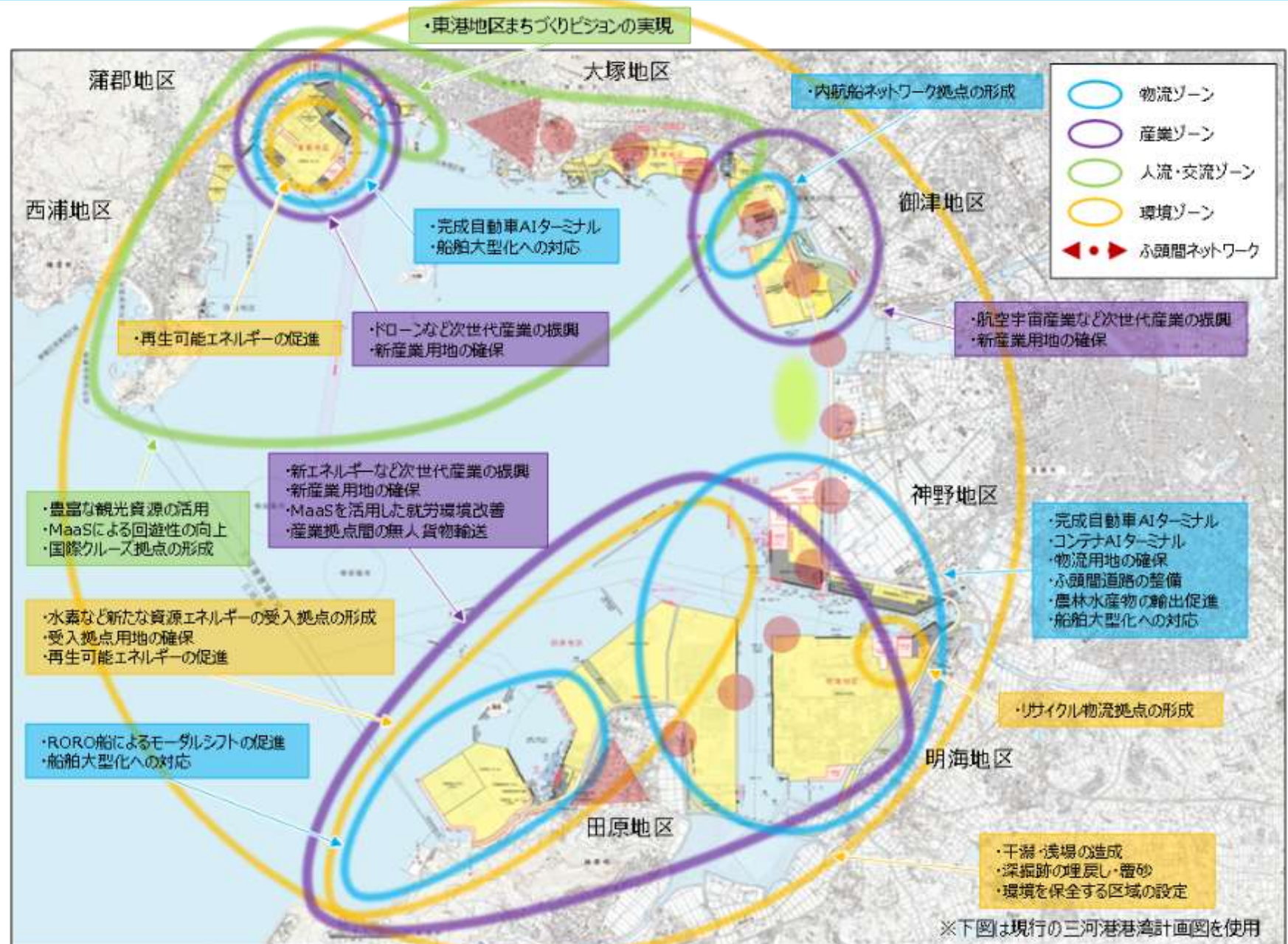
- 耐震強化岸壁の整備、情報通信技術の積極的な導入による住民の安全・安心の確保、早期の地域復興支援
- 日頃から関係機関が一体となった防災対策
- 港背後の災害対策基地との連携による地域防災拠点の形成
- 頻発化・激甚化する地震・津波・台風・高潮といったあらゆる自然災害や気候変動に伴う海面上昇に対応した防波堤の整備や堤外地などにおける防災対策の強化
- 関係機関が連携した水際対策の強化



神野・明海地区におけるエリア減災計画



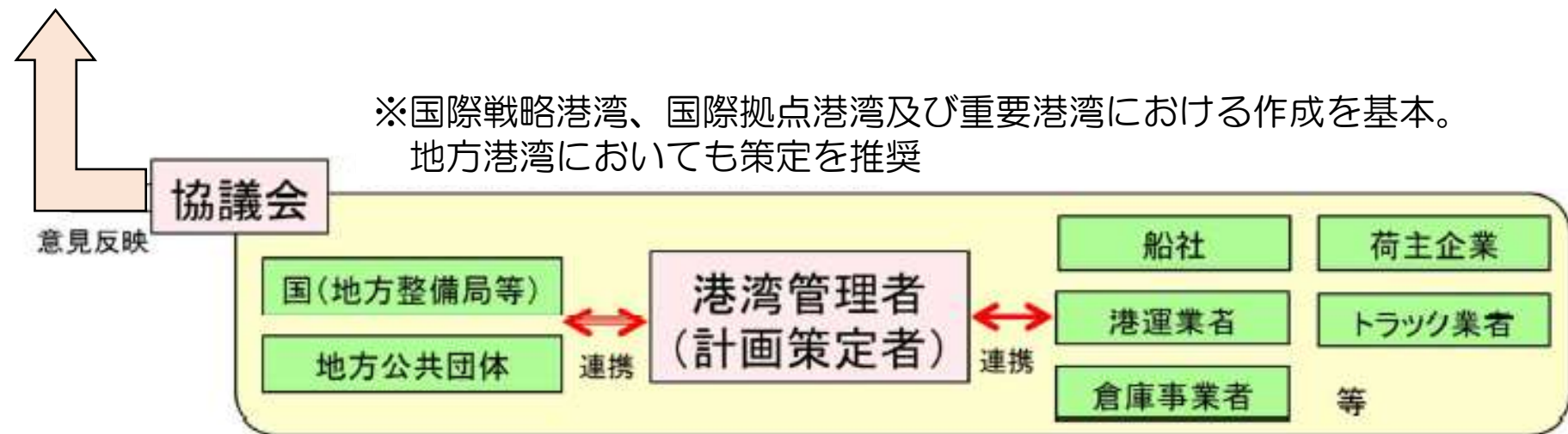
三河港長期構想（案）



カーボンニュートラルポート形成計画の策定

○ カーボンニュートラルポート形成計画の策定

CNP形成計画（国の方針に基づき関係者の協力を得て港湾管理者が作成※）



《出典：国土交通省作成資料》

【概要】

- 衣浦港・三河港で2023年度を目標に公表

【2022年度の主な実施内容】

- 温室効果ガス排出量の推計
- 水素・燃料アンモニア等の利活用、ポテンシャル調査
- 港湾機能の高度化に向けた施設検討 等

ご視聴 ありがとうございました。